

「いつ」・「どうやって」逃げるのか - 地震編

今、地震が起きたらどうするかを少しでも考える習慣をつけましょう



グラツときた

0~2分

とにかく自分の身を守ろう

グラツと揺れたら、まず落下物から身を守りましょう。

- 机の下に入る
- クッションなどで頭を保護する
- 家具から離れる
- ガラス面から離れる

大揺れがおさまった

2~5分

火の始末をし、しっかり火災防止

台所やストーブなどの火の始末をしましょう。避難のときはブレーカーを切ること、ガスの元栓を閉めることも忘れないようにしましょう。

火の始末のあと

5~10分

家の安全確認、確保

自分の身の安全を確保できたら、次のことを行いましょう。

- 家族の安全の確認、確保
- 避難のための出口の確保
- ガラス片や転倒家具に注意

外に出たあと

10分~半日

隣近所の安否確認、助け合い

隣近所で安否の確認をして、協力し合い、近隣住民の救出、救護にあたりましょう。

- 倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- 火災発生時の消火活動
- けが人の救護

避難後数日間

半日~3日

最低でも2~3日は自分でしのぐ

地震発生後数日間は、水道、電気などのライフラインをはじめ、食料の供給が途絶えます。最低でも2~3日、できれば7日間は自分でしのげるように生活必需品(非常用持出品)を備えておきましょう。

復旧活動開始

3日以降

地域力を活かした復興

ライフラインなどの復旧が進められ、被災者のみなさんが通常の生活に戻るための生活再建と地域復興を進めます。地域のみなさんがボランティアや行政機関との協働により、進めていくことが必要となります。

※自宅建物に火災や倒壊の危険がないときは、あえて避難する必要はありません。
 事前に住宅の耐震化や家具などの転倒防止対策を行い、食料や水などの必要な物を日頃から備え、可能な限り自宅での生活ができる準備を整えておきましょう。

洪水時も同じです

■ 震度階級表

震度階級	人の体感・行動	屋内・屋外の状況
7	立っていることができずはわないと動けない。	<ul style="list-style-type: none"> 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる
6強	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	<ul style="list-style-type: none"> 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたり、飛ぶこともある 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する 補強されているブロック塀も破損するものがある
6弱	立っていることが困難になる。	<ul style="list-style-type: none"> 固定していない家具の大半が移動し、倒れる ドアが開かなくなることがある 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する
5強	大半の人が物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	<ul style="list-style-type: none"> 棚にある食器類などが落ちる 固定していない家具が倒れることがある 補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	大半の人が恐怖を覚え物につかまりたいと感じる。	<ul style="list-style-type: none"> 電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類などが落ちることがある 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れる 電柱が揺れるのがわかる
4	歩いている人のほとんどが揺れを感じる。	<ul style="list-style-type: none"> 電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる 電線が大きく揺れる

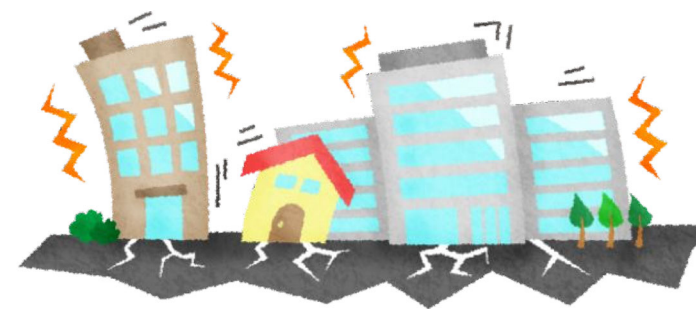
出典：気象庁（平成21年3月改定）

■ 震度分布図・液状化危険度分布図 - 想定する地震

東日本大震災の教訓を踏まえて、静岡県が策定した「第4次地震被害想定（平成25年）」では、「駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震」「相模トラフ沿いで発生する地震」について、それぞれレベル1・レベル2※の地震を想定しています。

ここでは、函南町への影響が最大となる地震として、レベル2の以下の2つを想定地震としています。

- 南海トラフ巨大地震 (M9 程度、東側ケース)
- 元禄型関東地震 (M8.2 程度)



※レベル1・・・発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震
 レベル2・・・発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震

■ 建物被害の予測

項目	駿河トラフ 南海トラフ	相模トラフ
全壊・焼失棟数	約 100 棟	約 400 棟
半壊棟数	約 600 棟	約 1,500 棟
合計	約 700 棟	約 1,900 棟

■ 人的被害の予測

項目	駿河トラフ 南海トラフ	相模トラフ
死者数	0 人	約 10 人
重傷者数	約 10 人	約 40 人
軽傷者数	約 60 人	約 200 人
合計	約 70 人	約 250 人